

ナイス福岡 会報

自然感

# くすのき

2021年9月

第 314 号



“風や空の色ら虫の音などに、秋を感じ始めるころには、緑一色だった草むらも、

色とりどりの花でいっぱい “ aiko

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号

田村の自宅内 TEL : 090-8220-6160

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

## ★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会 (121回)

日時：9月18日(土) 10時から12時

の予定は、コロナウィルス拡散防止のため、公園が9/30まで閉鎖中。公園が利用できないので、**延期**します。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160 [田村の携帯]

**注意** 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。  
 詳しくは各団体にお問い合わせください。

**日本野鳥の会 福岡支部 主催**

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

**9月は中止** 10月17日（日）  
 天拝山探鳥会（筑紫野市）  
 時間：8:00～11:00（9月夏時間）  
 集合：天拝山歴史自然公園  
 問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

**9月は中止** 10月24日（日）  
 久末ダム探鳥会（福津市）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：久末ダム多目的広場横  
 駐車場（管理事務所下）  
 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

10月3日（日）  
 今津探鳥会（福岡市西区）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：玄洋高校西側道路  
 問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

**9月は中止** 10月9日（土）  
 大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：ボート乗り場前  
 問合せ：092-834-8644（持永俊行）

**9月は中止** 10月10日（日）  
 和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：JR 和白駅前の公園  
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

10月5日（火）  
 県営春日公園（春日市）  
 時間：10:00～12:00  
 集合：音楽堂ステージ側（第5P）  
 問合せ：092-592-3423（小野仁）

**日本野鳥の会 筑後支部**



**9月は  
 中止**

**福岡植物友の会**

**9月まで休止**  
 問合せ：佃 昇（092-662-2983）  
 要予約 参加は有料

**久留米の自然を守る会**

10月17日（日）  
 ネイチャーゲームの会との合同  
 時間：9:30～  
 集合：森林公園駐車場  
 持ち物：飲み物など  
 問合せ：0942-43-7959（河内）



メタセコイヤの樹幹流 三国・松永

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

10月2日（土）  
 集合：九州歴史資料館駐車場  
 時間：9:30～12:00（早めに終わるか  
 かもしれません）  
 問合せ：092-920-3072  
 参加費：大人 200円  
 コロナ対策：ブログにて確認  
 ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で  
  
 観察会や様々な生きもの情報を載せています



粘菌の仲間 三国・松永

**和白干潟を守る会 主催**

9月25（土）  
 定例会議  
 時間：12:30～14:00  
 集合：和白干潟を守る会事務所  
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

9月25（土）  
 クリーン作戦 と自然観察会  
 時間：15:00～17:00  
 集合：海の広場 駐車場なし  
 長靴・軍手があると便利  
 問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



枯れ草中のタカサゴユリ 三国・松永

# 2021年8月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、8月1日(旧暦6月23日)~8月31日(旧暦7月24日)までのデジカメ日誌です。



8月10日(旧暦7月3日) 大野城市石坂窯跡  
平野川上流域で、ムシヒキの仲間に出会った。図鑑で色々見たがなかなか見当たらない。ネットでやっと似た種が見つかった。ヒサマツムシヒキとあった。約1cm。



8月14日(旧暦7月7日)・8月23日(旧暦7月16日)  
筑紫野市天拝坂 中旬の長雨のさ中、テニスコートの芝にキノコが輪になって出現した。フェアリーリングだ。しめじの仲間のような。下旬の晴れた日に、キノコは消えて芝だけが濃くなっていった。菌由来の「AHX」が働いたか。



8月17日(旧暦7月10日) 筑紫野市天拝坂  
庭にモズの幼鳥が現れた。ほんの2、3分ではあったが、羽繕いをしたり、親を呼ぶような甘い声を出したり、すっかり寛いでいった。またお出で!



8月19日(旧暦7月12日) 筑紫野市天拝坂南公園  
公園のサルスベリの幹に、アリのアーケードがつくられていた。体長2mmくらいのケアリの仲間のような。共生相手のアブラムシはよくわからなかった。アリの列は幹の上方へ続いていた。



8月20日(旧暦7月13日)  
大野城市大佐野 街路樹の地衣類の上にハエトリグモがいた。カメオのような模様が美しい。



8月23日(旧暦7月16日)  
筑紫野市天拝坂 自宅の庭にアオイトトンボがいた。水辺から遠いのに? 金緑が美しい。



8月23日(旧暦7月16日) 筑紫野市天拝坂南公園  
公園の東屋の柱の下方に、せみの産卵痕が多数あった。卵は見えなかった。先日、大佐野で見かけたハエトリグモがここにもいた。突然、公園のサルスベリの梢から、激しい羽音。カマキリがセミをがっすり掴んでいた。

## 会員からの投稿(1) 渋田 和美

雨や風が強いと普段なかなか出会えない鳥がやってきます  
通常は海上にいるのでなかなか会えないアカエリヒレアシシギが  
ひょっこり現れました。8月21日撮影

編集部：この鳥、海上の暮らしが多いので、出会える機会が少ない。  
出会えてうらやましいですね。



## 会員からの投稿(2) 窓越しの自然観察 43

～ 一期一会 ⑰ ～

八月十五日、ツクツクホウシの声。その後は大雨、長雨で蝉達も小鳥達も鳴かず飛ばず。それでも、  
五月に開く純白で地味とも見える花から意外にも紅色のヤマボウシの実が八月に入って鮮やかに色を深かめ、



カンカン日照りの場所に飛んだ種が根付いてくれた様です。

風はどんな種を運び、小鳥が落ちて行くのは何な

のか生えてみなければ判らない。遠慮なしに生い茂る夏草どもに埋め尽くされた放任ガーデン？

は時として嬉しい驚きと発見をもたらしてくれ、有難うと感謝！！(ダムサイト住人 2021/9/5 記)



それを求めて飛びくるもの  
有りか？いつの間にか食べ  
尽くされてしまっています。

嬉しいことに姿を消して  
しまつて数年になる  
オミナエシが、今夏、  
居場所を移して花をつけて  
くれた。今までの場所は  
日当たりが悪くなったので  
仕方ないと諦めていたが

## 会員からの投稿(3) 志賀 壮史

2021年9月号 SDGsの17の目標(その10)

SDGs(持続可能な開発目標)の17の目標を少しずつ取り上げています。  
今回は「人々に保健と福祉を(Good Health and Well-Being)」です。

あらゆる人に健康的な生活を確保し福祉を促進するという目標です。  
具体的な内容を私なりに意識すると「妊産婦及び新生児の死亡率を削減する」「2030年までにHIV、結核、マラリア等を根絶する」「薬物やアルコールの過度な利用の防止や治療を強化する」「交通事故を半減させる」「ワクチンや医薬品の研究開発を支援する」など。保健と福祉は多くの人にとって根本的なニーズで、それだけに重要な目標だと思えます。

ご存知の通り、新型コロナウイルス感染症は2019年末に発見され、2020年に拡大していきました。それ以前には、妊産婦や新生児の死亡率の削減、HIVの流行の制御、マラリアによる死亡数の半減などの成果が見られていたようですが、新型コロナ自体の影響や予防接種キャンペーンの中断などにより成果は後退しているとのこと(UNDP:国連開発計画のサイトより)。



私たちの自然観察会や生きもの調査、環境保全活動も長い目を見て、多くの人の健康と福祉につながるもの、その土台になるものだと思っています。たった今も福岡県は緊急事態宣言下ではありますが、感染拡大の予防に務めつつ、長い目を見て必要な「自然を守り残す取り組み」を続けていきたいですね。(写真は2017年に撮影したものです)

## 会員からの投稿(4) 田村耕作

最近、散策中に青色を持つ生きものに反応して、ついシャッターを押していることがよくあります。

飛んだカワセミ



カワセミの背中の中(コバルトブルー)、ジーツと見ていて飽きない青い蜂、青い紋のある蝶、額に青い印を持つトンボ、山道などで出逢うことの多い通称道教え、能古島ではじめてであった小さな青い蜂の仲間、片江展望台で見かけた明るい橙色のカメムシの脚が金属光沢のある緑青が印象に残っています。あちこちと見つめれば、自然の中の色の多様性に驚かされます。

ナミルリモンハナバチ



ルリタテハ



アオビタイトンボ♀と♂(下)



オオセイボウ



ナミハンミョウ



アカギカメムシ(若)



